

## パネルセッション

### 「学校改善と地域社会の役割」



#### [モデレーター]

ワライポーン・サンナパボーン タイ国家教育委員会国際教育部部長

#### [パネリスト]

ジェラルド・W・フライ 米国ミネソタ大学  
教育人間開発校組織リーダーシップ・政策・開発学部教授

R・ゴヴィンダ インド国立教育計画行政大学学長

イボ・イサ ニジェール革新的教育者協会 (ONEN) 代表  
みんなの学校プロジェクト現地チーフコーディネーター

水本 徳明 筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授

## [モデレーター]

ワライポーン・サンナパボーン タイ 国家教育委員会 国際教育部 部長スリナカリンウィロット大学で中等教育学士号、ウィスコンシン大学マディソン校で教育経営学修士号、筑波大学で教育学博士号を取得。日本が教育改革を実施していた時期に留学した経験を活かし、タイの包括的教育改革に貢献。タイ教育省の教育改革の中で、「学校ベースの管理に関するパイロット研究」のプロジェクト総括責任者を務める。これは教育省が地方政府、地域社会、学校へ学校管理の権限を分権化することを目指した活動の一環である。2004年に名古屋大学大学院国際開発研究科の客員研究員となり、「タイの教育改革－1999年から2004年：成功と失敗、改革実施の政治経済」と題した研究論文を発表。

## [パネリスト]

ジェラルド・W・フライ 米国 ミネソタ大学 教育人間開発校組織リーダーシップ・政策・開発学部 教授スタンフォード大学国際開発教育学博士。プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン・スクール行政学修士。ピュー・フェロー特待生としてハーバード大学ケネディ・スクールで国際問題を研究。50年にわたり、タイの教育・開発政策を研究。タイについて、「初等教育評価：タイの政策に関する質的・量的研究」「統合報告：危機から好機へタイ教育改革の試み」「タイと近隣諸国：学際的視点」など多数の論文を発表。タイに関する多数の論文からハーバード・インターナショナル・レビューに3つの論文が掲載される。また、カンボジア、ラオス、ベトナムの教育についても多く研究している。オレゴン大学アジア太平洋研究センター元所長。

R・ゴヴィンダ インド 国立教育計画行政大学（NUEPA） 学長これまでロンドン大学教育研究所、パローダのマハラジャ・サヤジラオ大学、ユネスコ国際教育計画研究所（IIEP）などに勤務。「万人のための教育」のグローバル・モニタリング・レポート編集委員、ユネスコ国際教育局のコンサルタント・フェロー、教育中央諮問委員会委員、インド政府の教育を受ける権利に関する国家諮問委員会委員など国内外の組織に所属。初等教育と識字、分権的マネジメント、プログラム評価、高等教育改革などを研究し、多数の論文を本や専門誌に発表している。

イボ・イサ ニジェール革新的教育者協会（ONEN）代表 みんなの学校プロジェクト 現地チーフコーディネーターUAM（アブドゥル・ムムニ・ニアメ大学）教育学部を修了。9年間にわたって数学教授を勤めた後、INDRAP（国立教育研究所）に入所し、11年間にわたり教員養成および教科書編纂を主に担う数学担当室室長、科学部門総括部長を歴任した。現在、NGOであるONEN（Organisation Nigérienne des Educateurs Novateurs ニジェール革新的教育者協会）の代表を務めるとともに、7年にわたりJICA みんなの学校プロジェクトのコンサルタントとして、ニジェール国内の学校教育分権化政策の実施に携わっている。ニジェールの住民参加型学校運営にかかるアプローチや戦略研究における先駆的人材の一人である。また、当該分野におけるニジェールの知識や経験の共有を求められ、2007、2008年にマリおよびブルキナファソから招へいされている。これまで10冊にのぼる教科書、「学校とコミュニティのパートナーシップ強化 ユネスコ国際教育計画研究所」他、学校運営委員会（COGES: コジェス）の設置と能力強化にかかる研修マニュアル開発に携わっている。

水本 徳明 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授筑波大学大学院教育学修士。専門は教育経営学、共生教育学。学校におけるコラボレーションと創発性に関心をもって研究している。2009年に日本教育経営学会実践推進委員会委員長として、「校長の専門職基準（2009年版）」を策定した。現在は、同学会研究推進委員長として、教職を感情労働として捉えた共同研究を推進中。